

## 8. 工事用車両の走行に伴う交通安全への影響の予測結果

(工事従事者への指導と交通誘導員の誘導で、交通安全は確保できると予測する。とあるが本当か?)

表 5-2-16 工事用車両の走行に伴う交通安全への影響の予測結果

市区		調査地区	計画施設の 種類	工事用車両の走行に伴う交通安全への影響
川崎市	中原区	等々力	非常口 (都市部)	工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道幸多摩線は歩道のない区間がほとんどであるが、多摩川堤防上にサイクリングコースが整備されている。また、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されているほか、歩道橋が設置されている箇所もある。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
	宮前区	梶ヶ谷	非常口 (都市部)	工事用車両の走行が予定されている市道尻手黒川線へは、信号交差点を介して出入する予定である。同市道は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されているほか、歩道橋が設置されている箇所もある。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知を図ることによって、交通安全は確保できると予測する。
		犬蔵	非常口 (都市部)	工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道尻手黒川線及び工事用車両の走行が予定されている県道 13 号、市道梶ヶ谷菅生線 (Ⅲ) は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
	麻生区	東百合丘	非常口 (都市部)	工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道尻手黒川線及び工事用車両の走行が予定されている市道尻手黒川線 (Ⅲ)、市道野川柿生線 (Ⅶ)、市道麻生 6 号線、市道王禅寺 35 号は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
		片平	非常口 (都市部)	工事施工ヤードから県道 137 号までは、工事用道路を新設し、取り付ける計画である。県道 137 号は、道路に面して柿生小学校が立地するが、一部区間を除き歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、搬入時間等の検討、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。